

## 告 辞

本日はお忙しい中、学長先生を始め、諸先生方、並びにご来賓の皆様にご臨席賜り、このような盛大な修了式を挙げて頂き、誠にありがとうございます。また、学位記の授与にあたり、皆様方から温かいお祝いの言葉を頂戴しましたこと、修了生を代表して厚く御礼申し上げます。

私達一同は、希望と志を抱いて連合農学研究科に入学し、それぞれが掲げた研究課題に真摯に取り組んで参りました。その間、幾度となく困難に直面し、途方に暮れることもありましたが、先生方は発想の転換を促し、叱咤激励してくださいました。本日、ここに学位を取得することが出来たのは、ひとえに指導教員を始めとする多くの先生方のご指導、ご鞭撻の賜物です。心より感謝し、御礼申し上げます。また、在籍中、支えてくださった職場の同僚、家族、友人や研究室の皆様にも、深く感謝致します。研究室の若い皆様と議論を交わし、将来の夢について耳を傾ける機会を持てたことは、私にとって得がたい思い出となりました。

私達を取り巻く社会は今、長く続く経済の低迷や政治の混乱による閉塞感に満ち、未曾有の災害から未だ立ち直れずにいます。私達は、これまでの研究活動で得た知識や経験を糧に、社会の求めに謙虚に向き合い、なすべきことを自らに問い続け、新たな時代を切り開いていかねばなりません。東京農工大学大学院連合農学研究科を修了したことに誇りと自信を持ち、真の研究者となるべく、それぞれの道へ新たな一歩を踏み出す所存です。研究を通じた社会貢献を常に念頭に置き、今後もより一層の努力を重ねて参ります。

最後になりましたが、東京農工大学大学院連合農学研究科の一層の発展と、皆様方のさらなるご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、答辞とさせていただきます。

平成二十四年三月十五日  
東京農工大学大学院  
連合農学研究科代表  
生物生産科学専攻  
和田 早苗